

カリキュラム・マップ【教職・名古屋校舎】

学習・教育目標	①教育者としての使命感を身につけようとする努力ができる。 ②人間の成長・発達について深く理解できる。 ③生徒に対する教育的愛情を持とうとする努力ができる。 ④教科等に関する専門的知識を身につけることができる。 ⑤広く豊かな教養を身につけることができる。 ⑥社会の変化に応じた教師の専門性を身につけようとする努力ができる。
---------	---

科目名	配当年次	授業の到達目標	学習・教育目標との関連 (◎＝強く関連、○＝関連、△＝やや関連)					
			①	②	③	④	⑤	⑥
教職入門	1年	教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容について理解するとともに、自分自身の教職に対する適性を考えることができる。	◎		△			○
教育原論	1年	教育の理念、また教育に関する歴史や思想について理解し、教育を客観的に見直すことができる。	◎	○			○	○
学校と教育の歴史	1年	教育の歴史を学ぶことで、過去の教育に関する事実や思想を理解するとともに、現代の教育を見直す視点を身につける。	◎				○	○
教育心理学	1年	教育に利用できる心理学の知識を得て、児童生徒およびその周囲の心理を理解する。		◎	◎			
特別支援教育概論	2年	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒、さらに障害はないが特別的教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の、学習や生活に必要な教育的ニーズ、教育課程、支援方法につき、障害特性と発達を踏まえて理解する。		◎				○
教育制度論	1年	教育に関する制度や学校の経営について理解できる。	◎					○
教育課程論	2年	教育課程の意義とその編成の方法について理解できる。		○	△	○		○
英語科教育法	2年	英語科に関する基礎的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
英語科指導法Ⅰ	2年	英語科に関する発展的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
英語科指導法Ⅱ	3年	英語科に関する発展的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
英語科指導法Ⅲ	3年	英語科に関する発展的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
中国語科教育法	2年	中国語科に関する基礎的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
中国語科指導法Ⅰ	2年	中国語科に関する発展的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
中国語科指導法Ⅱ	3年	中国語科に関する発展的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
中国語科指導法Ⅲ	3年	中国語科に関する発展的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
社会科・地歴科教育法	2年	社会科、とくに地理歴史分野に関する基礎的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
社会科・公民科教育法	2年	社会科、とくに公民分野に関する基礎的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
社会科教育法	2年	社会科に関する基礎的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
社会科・地歴科指導法	3年	社会科、とくに地理歴史分野に関する発展的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
社会科・公民科指導法	3年	社会科、とくに公民分野に関する発展的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
商業科教育法Ⅰ	2年	商業科に関する基礎的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
商業科教育法Ⅱ	3年	商業科に関する発展的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
情報科教育法Ⅰ	2年	情報科に関する基礎的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
情報科教育法Ⅱ	3年	情報科に関する発展的な指導法を身につけることができる。	◎	△		◎		
道德教育の理論と方法	2年	道德教育の持つ特質や学校教育における道德教育の役割を理解するとともに、実際の指導法を身につける。	◎	○	○	◎		○
総合的な学習の時間の理論と方法	2年	【総合的な学習・探究の時間】の意義とその編成の方法について理解できる。				◎		○
特別活動の理論と方法	2年	特別活動の持つ特質を理解するとともに、学校教育における特別活動の役割や実際の指導法を身につける。	◎	○	○	◎		○
教育方法論	2年	教育方法の原理を理解するとともに、学校教育における授業の編成方法、情報機器を活用した指導法を身につける。	○	○	△	○		○
ICTを活用した教育の理論と方法	2年	教育現場におけるICT活用の意義や理論、活用方法について理解し、情報活用能力を育成する意義及び育成方法を身につける。				◎		○
生徒・進路指導の理論と方法	2年	学校教育における生徒・進路指導の役割や実際の指導法を身につける。	◎	◎	◎	○		△
教育相談の理論と方法	2年	学校現場で生じる心理に関する諸問題を理解し、解決への道筋を知る。	○	◎	◎			
教育実習Ⅰ	4年	学校での実習を通じて、教師の仕事の実際を理解し、教職課程で学習した理論や方法を実践することができる。	◎	◎	◎	◎	○	○
教育実習Ⅱ	4年	学校での実習を通じて、教師の仕事の実際を理解し、教職課程で学習した理論や方法を実践することができる。	◎	◎	◎	◎	○	○
教育実習Ⅲ	4年	学校での実習を通じて、教師の仕事の実際を理解し、教職課程で学習した理論や方法を実践することができる。	◎	◎	◎	◎	○	○
教職実践演習(中・高)	4年	教職課程での学習を振り返り、自分自身の特性や課題を把握し、教職の専門性を身につけようとする努力ができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
子ども指導実践	2年	学校現場での子どもたちの指導を工夫し、実践することができる。	◎	○	○	○		
教育問題研究Ⅰ	2年	教育課題について深く探究するとともに、ねばり強く思考することができる。他者と意見の交換をすることができる。	○	○	○	△	◎	◎
教育問題研究Ⅱ	2年	教育課題について深く探究するとともに、ねばり強く思考することができる。他者と意見の交換をすることができる。	○	○	○	△	◎	◎
教育問題研究Ⅲ	2年	教育課題について深く探究するとともに、ねばり強く思考することができる。他者と意見の交換をすることができる。	○	○	○	△	◎	◎
教育問題研究Ⅳ	2年	教育課題について深く探究するとともに、ねばり強く思考することができる。他者と意見の交換をすることができる。	○	○	○	△	◎	◎
教育問題研究Ⅴ	2年	教育課題について深く探究するとともに、ねばり強く思考することができる。他者と意見の交換をすることができる。	○	○	○	△	◎	◎
教育問題研究Ⅵ	2年	教育課題について深く探究するとともに、ねばり強く思考することができる。他者と意見の交換をすることができる。	○	○	○	△	◎	◎
小中学校連携教育論Ⅰ	2年	義務教育段階を通じた子どもの発達や、小中学校を連携させた教育の実際と課題について理解できる。	○	◎	○	△	△	○
小中学校連携教育論Ⅱ	2年	義務教育段階を通じた子どもの発達や、小中学校を連携させた教育の実際と課題について理解できる。	○	◎	○	△	△	○
小中学校連携教育論Ⅲ	3年	義務教育段階を通じた子どもの発達や、小中学校を連携させた教育の実際と課題について理解できる。	○	◎	○	△	△	○
小中学校連携教育論Ⅳ	3年	義務教育段階を通じた子どもの発達や、小中学校を連携させた教育の実際と課題について理解できる。	○	◎	○	△	△	○